

2017.12.12 開会

第4回町議会定例会

平成29年第4回町議会定例会が、12月12日に開会され、15日に閉会しました。

この町議会定例会では、木幡町長の行政報告のあと、一般質問のほか、条例の一部改正、各会計補正予算など、議案12件について審議しました。

おもな内容については、次のとおりです。

歳までの再取得や再延長などが可能になったことによる改正です。

◆町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成二十九年人事院勧告に伴い、期末手当を〇・一月増額するものです。

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成二十九年人事院勧告に伴う改正です。

◆長万部町火葬場設置条例の一部を改正する条例

火葬場の改修に伴い町内の使用料について二十五%の引き上げ、町外については町内の二倍とするものです。

◆一般会計補正予算(第九号)

平成二十九年一般会計予算に歳入歳出それぞれ四千五百八十八千円が追加され、予算総額五十一億五千三百九十九万円となりました。

◆国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

平成二十九年国民健康保険特別会計予算に歳入歳出それぞれ九百十三万六千円が追加され、予算総額十億九千八百八十一万二千円となりました。

◆介護保険特別改正補正予算(第二号)

平成二十九年介護保険特別会計予算から歳入歳出それぞれ

それぞれ百四十万四千円が追加され、予算総額七億七千八百九十九万七千円となりました。

◆公共下水道事業特別会計補正予算(第二号)

平成二十九年公共下水道事業特別会計補正予算に歳入歳出それぞれ十五万八千円を追加され、予算総額三億三千三百四十三万七千円となりました。

◆ガス事業会計補正予算(第二号)

収益的収入の九千円が減額され、予算総額一億一千七百五十万一千円に、また、収益的支出に十八万四千円が追加され、予算総額一億二千七百五十二万四千円となりました。

◆水道事業会計補正予算(第二号)

収益的収入に三万二千円が追加され、予算総額一億六千七百十三万二千円に、また、収益的支出に三十九万四千円が追加され、予算総額一億六千六百八十四万四千円となりました。

◆病院事業会計補正予算(第二号)

収益的支出に八百九十三万五千円を追加し、予算総額六億六千四百二十二万五千円となりました。

◆一般会計補正予算(第十号)

平成二十九年一般会計予算に歳入歳出それぞれ六千九百六十四万六千円が追加され、予算総額五十二億二千三百六十三万六千円となりました。

木幡町長の

行政報告

＝平成29年12月12日＝

防災関係

本年度より実施しております防災行政情報伝達システム整備事業につきましては、九月二十六日に各システム取扱業者によるプレゼンテーションを実施し、本町に適したシステムとして、六〇メガヘルツ防災行政無線及び二八〇メガヘルツデジタル同報無線の二方式に絞り込んだところであります。

災害発生時の迅速かつ正確な情報伝達手段の確保は、本

町における喫緊の課題であることから、引き続き、早期のシステム構築に向けた取り組みを進めてまいります。

また、東日本大震災をはじめとする近年の災害の教訓を踏まえ、改訂を進めております地域防災計画については、この度、改訂案を作成したことから、長万部町防災会議に提案し、会議での意見等を検討、反映したうえで、年度末までに完成の予定となっております。

防災訓練関係では、十月十四日に福祉センターにて、防災リーダー育成を目的とした「地域防災マスター認定研修会」が北海道により開催され、町内会の役員や消防団員など、町内外から六十三人の参加をいただきました。

十一月一日には静狩地区に



において、風水害等の自然災害や土砂災害防止法をテーマとした講話を行い、二十人の町民の方々に参加いただいたております。

これらの訓練を通じ、災害から命を守るためには、町による災害対策である「公助」以上に、町民一人ひとりの災害に対する知識や備えである「自助」や、自分たちの地域は自分たちで守るという「共助」の必要性・重要性について、再認識いただいたところであります。

今後も、防災啓発活動や地域の特性に合わせた自主的な防災訓練実施に向けた働きかけなど、住民の安全・安心を守るためのまちづくりを進めてまいります。

公有財産の処分

本町が所有する有価証券のうち、函館空港ビルディング株式会社株券につきましては、「民間の能力を活用した国管理空港等の運営等に関する法律」に基づき、函館空港の運営が民間委託となることから、全株券を譲渡することとなりました。

昭和四十五年に六百株を購入した当該株券の売却収入に

つきましては、今後、所定の手続を踏んだ後、平成三十一年度の予算で計上する予定となっております。

東京理科大学関係

今年度は、十月三十日に理科大理工学部創立五十周年を記念して野田キャンパスにおいて開催された「東京理科大学ホームカミングデー2017・イン・野田」では、ふるさと納税のパンフレット配布のほか、ふるさと納税の返礼品のPRとして、ホッキのバター焼きとジンギスカンの提供など、ふるさと納税拡大のPR活動を実施いたしました。

台風による雨の中ではありましたが、いずれも完食となる人気となりました。

また、理科大との連携によるアグリビジネス事業につきましましては、高糖度トマトの栽培ハウスを含めた設置工事の地鎮祭が、理科大の旧デッカ跡地において、一般社団法人北海道おしゃまんべの主催により執り行われました。

現在、本年度計画されているハウス一棟と関連工事は十二月末の完成・生産開始を目指して施工されているところ

であります。

引き続き本事業の成功に向け、理科大と連携し取り組んでまいります。

移動町長室

町政について町民の方々と自由に意見を交換し、より住み良いまちづくりを進めるため、「移動町長室」を十月十日から町内四会場で開催いたしました。

今回の移動町長室には、延べ七十人の方々が出席され、災害など緊急時の情報伝達に関する課題や防災訓練での対応など、災害対策全般についてや、新幹線建設工事に関するること、ふるさと納税の拡大や理科大アグリ事業への期待



空き家対策、町立病院での課題改善など広範囲な分野において、多くのご意見・ご要望などをいただきました。

これらの貴重なご意見・ご要望を今後の町政運営に活かしてまいります。

まちづくりアクションプラン

現在、長万部まちづくり推進会議では、十三年後の新幹線開業を見据え、官民が一体となつて取り組むため、アクションプラン策定に向けた活動を展開しております。

これまで、本町通の整備やまちの駅の方向性について議論を重ねるとともに、十月には道の駅視察、十一月には黒松内町、豊浦町との合同によるモニターツアーを実施したところであります。

来年三月の策定に向けましては、おしゃまんべマルシェといった地域資源の発掘作業も並行させながら、より実効性の高いプランとなるよう、着実に取り組んでまいります。

葬斎場改修関係

葬斎場改修工事の関係につきましましては、町民の方々に大

変ご不便をおかけしておりますが、十二月から火葬炉設置工事に入り、お陰様で順調に平成三十年三月竣工の予定で進捗しております。

つきましては、施設更新に伴って火葬場使用料見直しのための条例改正案及び施設備品等の購入費用に係る補正予算を本定例会へ提案いたしております。

生活環境関係

今年度四月から十月までの渡島廃棄物処理広域連合の焼却施設に排出した長万部町の可燃ごみの量は、約一千六十二トンで、前年度同期と比較し、約九トン増加しております。

また、ごみの減量化の一環として実施しております衣類の無料回収は、役場窓口での随時受付と三回の巡回地域回収を実施し、今年度は十月末で八百三十八kgの衣類を回収いたしました。

廃食用油は、今年度も役場・福祉センター・各会館のごみステーションに無料回収ボックスを設置して、現在までに七百五リットルを回収しており、使用済小型家電についても、同じく役場庁舎内の

無料回収ボックスで、九百十kgを回収しております。

町民のみなさんには、今後ともごみの減量化やリサイクルへのご協力をお願いいたします。

海岸流木処理

本年九月の台風十八号による大雨のため、字旭浜の海岸に多くの流木等が漂着し、漁業被害等が発生いたしました。今後は、漂着流木の海上流出等による漁業被害が懸念されることから、十二月二十五日を工期として海岸流木処理業務を施工中であります。

町民の健康増進

健康づくりの推進につきましては、特定健診やがん検診といった各種検診を実施しており、受診率向上のため無料クーポン券の配布や、対象者への電話勧奨等を積極的に行っております。

次の特定健診・がん検診は、二月に実施する予定でありますので、積極的な受診をお願いいたします。

園児や生徒を対象とした健康教室では、十月に幼稚園で

食育教室を実施しました。栄養士による野菜の栄養についての講話と、園児が育てた野菜を使った調理実習を実施し、栄養に関する理解を深めました。

また、中学三年生に赤ちゃん講座を、高校三年生に育児体験教室を実施しました。教室では赤ちゃんとお母さんにインタビュをしたり、赤ちゃんとおふれあい、命の大切さを学んでいただきました。



インフルエンザ等の予防について

高齢者インフルエンザ予防接種は、十一月末現在八百八十八人から申請がありました。

インフルエンザ流行の時期でもありますことから、うが

いや手洗い、手指消毒、外出時のマスク着用等の励行を促し、予防の徹底を図っております。

このほか、ノロウイルスやロタウイルスによる感染症にも備え、うがいや手洗い等の励行を勧めてまいります。

高齢者福祉関係

地域敬老会は、八月二十九日を皮切りに二十六地域二十三会場で実施され、対象者一千二百四十五人に対し五百八十人の出席をいただき、出席率は四六・六％となりました。各会場とも、町内会等のみなさんによる特色ある料理の提供や趣向を凝らした催しなどにより、出席された方々から大変喜ばれておりました。

町内会等のみなさんには、ご苦勞をおかけしますが、高齢者の集まる場の一つとして継続されることを願っています。

十月二十六日には、福祉センターにおいて、日頃の運動不足解消と会員の協調、親睦の輪を広げることを目的に、老人クラブ運動会が、十二クラブ百三人の参加で開催されました。

今年も長寿のお祝いと社会

貢献へのお礼をこめて、九月十一日から十三日までと十五日から十八日までの計七日間、老人福祉センターを無料開放したところ二百九十九人が利用されました。

さらに、町内にある公衆浴場についても助成を行い、無料開放を実施したところ六百十五人が利用されました。

冬期福祉給付金 (福祉灯油)

本格的な冬に向かい、灯油料金、電気料金の高止まりもあることから、高齢者や障がい者等で低所得の状況にある方に灯油購入費等の一部を助成し、冬期間の増嵩経費に対する経済支援として、前年度と同様に冬期福祉給付金事業を実施するため、本定例会に補正予算を提案いたしております。

児童福祉関係

本年度から町内の民間保育所、幼稚園に対象を拡大した就学前第二子以降の保育料の無料化につきましては、現在十一世帯十一人の児童に対して補助金を交付し子育て支援の拡充を図っておりますが、

今後とも対象者が見込まれることから本定例会に補正予算を提案いたしております。

農業関係

家畜の主たる飼料作物の牧草やサイレージ用トウモロコシは、十月十五日の調査では、牧草は平年並の収量となっておりませんが、サイレージ用トウモロコシは天候が不安定で収穫作業がやや遅れ気味となっております。

生乳生産量は、四月から十月まで五千八百八十九トンを出荷し、前年に比べ二百三十四トンの減となり、乳代は五億二千八百四十六万円で、前年に比べ一千五百三十万円の減となっております。

黒毛和牛の四月から十月までの販売頭数は百五十九頭、販売金額は一億一千七百九十二万三千円で、前年同期と比較して、販売頭数は五頭の増であります。販売金額では二百十五万七千円の減となりました。

牧野関係は、生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場運営事業を実施しておりますが、十月二十七日に下牧が完了しております。

この間の入牧延べ頭数は六万三千十五頭で、前年に比べ六千二百三十七頭の増となりました。

新規就農者対策としては、九月九日に東京都、十一月十一日に札幌市で開催されました「新・農業人フェア」に長万部町のブースを出展し、農業に興味がある来場者五組五名の就農相談があり、長万部町のPRや就農への情報発信を実施しております。

林業関係

町有林一般造林事業は、平成二十八年度に寄付を受けた共立地区の土地に作業道新設事業として一千九百メートルを実施し、この作業道を利用した地拵・植栽事業三ヘクタールを十月十日に完了しております。

また、森林整備センターとの分収造林事業の豊津地区二ヘクタールの風倒木整理・地拵事業は、十一月九日に完了しております。

漁業関係

本町のホタテ貝養殖漁業での十一月末現在の種苗の生育

状況は、へい死・変形等が少なく比較的良好に推移しておりますが、冬から春の耳吊り時期にかけて変形・欠殻等が発生する可能性がありますので、渡島北部地区水産技術普及指導所等各関係機関と連携し、調査を行う予定となっております。

また、成貝は十一月下旬より水揚げが順調に開始されており、こちらもへい死・変形等が少なく比較的良好に成育しております。

本年の秋鮭漁は、十一月二十二日現在、漁獲量は三百七十八トンで、前年に比べ百二トンの減となっておりますが、漁獲金額は三億二千四百一万円で、前年に比べ八千九百三十三万円の増収となっております。

商工観光関係

中小企業の業況は緩やかに改善しておりますが、原材料価格の上昇や人手不足への懸念など、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、中小企業の健全育成と経営安定のため、国や道の様々な金融支援に対し、関係機関と連携し、町としての認定窓口等の設置を行って



おります。

次に、本年度上期の観光客入り込み数は、昨年の北海道新幹線開業効果が薄れたことに伴い減少し、毛がにまつり来場者が過去最高を記録したため、七月は増加しましたが、九月末まで前年度を下回る状況で、上期全体としては、前年度に比べ四・五パーセント減少して約三十万一千人となっております。

また、観光客誘致事業として、札幌市で開催されましたサッポロビアガーデンふるさとPRステージや、オータムフェスト2017に参加したほか、東京都葛飾区で十月二十七日から二十九日に開催された第三十三回葛飾区産業フェアへ昨年に引き続き出展し、長万部町の観光PR並び

に特産品の販売を行いました。これらのイベントには、町のキャラクター「まんべくん」も参加し、誘客効果を高めました。

労政関係

本年度も季節労働者の労働環境向上のため、渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会を中心として、雇用相談や求人情報の提供、技能研修などを通して、通年雇用に向けた支援を行っております。

消費者相談関係

近年、悪質商法や訪問押し買い詐欺、料金不正請求など次々と新しい手口による消費者問題が多く発生しており、消費者の安全確保についての苦情相談など、住民に対して必要な情報収集や提供を行うため「消費生活相談員」を配置するとともに、今年度から全国消費者生活情報ネットワークを活用して、全国の最新苦情相談情報を収集しております。

今後、ますます巧妙化する手口への対応が必要とされる中、被害防止講座の開催、関

連する部署間の情報交換や町広報での消費者の安全確保に関する情報周知を継続して行い、住民の消費者生活被害予防に努めてまいります。

建設関係

土木事業では、町道中山大通線外舗装補修工事及び町道駅前通線側溝取替工事について、工期内の十一月十七日に完成しております。

町道新開線外側溝取替工事につきましては、十二月中旬までの工期で施工中であります。

また、橋梁長寿命化修繕事業の一環として実施している橋梁点検調査業務委託につきましても、十二月下旬までの工期で実施中であります。除雪関係では、協同組合長万部町建設協会と十一月十三日に委託契約を締結し、町道や公共施設等の除雪作業を実施してまいります。

建築事業では、町営住宅中部団地安全柵修理工事につきましては、工期内の十月十六日に完成しております。

その他、公共施設や町営住宅の修繕工事は、計画的に実施しておりますが、町営住宅設備につきまして、老朽化の

進行や落雷による通報装置等の故障など修繕が頻発し、これに伴う修理費等の不足を補うべく、本定例会に補正予算を提案いたしております。

公園事業では、今年度の長万部公園キャンプ場の利用は、十月三十一日で終了いたしました。キャンプ場利用者は二千八百七十三人で、昨年度に比べ五・二％の増となっております。バンガロー利用棟数は二百六十一棟で、昨年度に比べ五・八％の減となっております。

また、あやめ公園パークゴルフ場の利用は十一月五日で終了いたしました。パークゴルフ場利用者は六千三十六人で、昨年度に比べ〇・二％の増となっております。

ガス事業

ガス本支管改良工事の本通線工区は十月三十一日、長万部線工区及び中山大通線工区は、十一月二十日に完了しております。

水道事業

道道長万部公園線改良工事に伴う配水管移設工事及び長

万部地区一号配水池改修工事は、十一月三十日に完了しております。

病院事業

病院内防火設備設置工事として実施するスプリンクラーの設置を、平成三十年三月二十六日までの工期で施工中であります。

教育関係

長万部中学校の水道を直接給水方式に変更する給水管改修修繕工事につきましては、平成三十年三月二十日までの工期で十二月一日に施工業者と契約を締結しております。

消防関係

今年十一月末日現在の火災発生件数は五件、救急件数は三百五件で、うちドクターヘリでの搬送は五件となっております。昨年同期より火災が一件、救急が六十七件増加しております。

火災予防の事業では、秋の全道火災予防運動期間中に、介護施設や旅館、大型店舗な

ど、不特定多数の方が出入りする施設の防火査察、女性消防団員による街頭啓発や防火訪問、各地域の分団による防火広報を実施いたしました。

救急関係の事業では、長万部高校のインターシップ研修生五名に対し普通救命講習を実施したほか、九月九日の「救急の日」に上級救命講習を開講し、五名の方が修了されました。消防団の事業については、十一月十五日に消防団員の部長・班長を対象とした中級幹部講習を実施し、「緊急自動車の法令と実務」について講習を行いました。

大型水槽車整備事業の進捗状況については、十一月十七日に受注業者の工場に消防車のベースとなる新型の車両が入庫となり、現在、大型水槽や小型ポンプ等の架装が始まっております。二月に中間検査を行い、納期の三月二十日には納車される予定となっております。

2017年度 北海道新幹線特集

第3号



◎まちづくり推進会議を開催しました

平成27年度に策定した「新幹線を核としたまちづくり実行計画」のビジョンをふまえつつ、まちづくりの方向性としての「新幹線駅周辺整備計画」を平成28年度に策定しました。

この「新幹線駅周辺整備計画」では、駅を中心にまちの軸を設定し、駅前広場や自由通路などの整備の方向性を示しています。

これらを受けて、平成29年度はより具体的な「まちづくりアクションプラン」の策定に取り組んでいます。このための会議として、平成29年度の第1回および第2回長万部まちづくり推進会議を実施したことを、以前の広報にてお伝えしたところです。

平成29年11月13日に第3回まちづくり推進会議を、12月7日に第4回まちづくり推進会議を開催しましたので報告します。

第3回会議では、長万部高等学校生徒により「長万部のあり方や希望」と題して研究発表がされました。この発表では、「長万部らしさ」や「立ち寄りたくなるようなまち」についてキーワードごとに整理されていきました。このほか第3回会議では、まちの駅の位置や本町通の整備について話し合われました。

第4回推進会議では、自由通路の位置やこれに関連する駅前広場の整備についてテーマとし、今後の議論を深めていくことが確認されました。これらのまちの駅・本町通・自由通路・駅前広場については、継続して話し合ってまいります。



高校生による研究発表